

安全データシート

化学品の名称:セメダイン バスコーク N 透明

発行日: 2021/11/29

印刷日: 2022/06/15

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称: セメダイン バスコーク N 透明

推奨用途及び使用上の制限 特定用途: 接着剤、結合剤

供給者の会社名称, 住所及び電話番号

会社名	セメダイン株式会社
住所	306-0204 茨城県古河市下大野2184
担当部門	品質保証部 化学物質管理グループ
電話番号	0280-92-4518
FAX番号	0280-92-1947
メールアドレス	emg@cemedine.co.jp
緊急連絡電話番号	0280-92-4518
	月曜～金曜、8時30分～16時50分まで（言語：日本語）
整理番号	1202

2. 危険有害性の要約

化学品の GHS 分類

水生環境有害性 短期（急性） - 区分 3

GHS ラベル要素

危険有害性情報

水生生物に有害。

注意書き

安全対策

屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。

環境への放出を避けること。

廃棄

内容物／容器を承認された処理施設に廃棄すること。

他の有害危険性

データなし

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別: 混合物

化学名	CASRN	化審法番号	安衛法番号	濃度又は濃度範囲
イソブチルトリメトキシシラン	18395-30-7	2-2052, 2-2053	(2)-2052, (2)-2053	$\geq 1.0 - < 10.0 \%$
有機チタネート	非開示/CBI	-	-	$\geq 1.0 - < 10.0 \%$
メチルトリメトキシシラン	1185-55-3	2-2052, 2-2053	(2)-2052, (2)-2053	$\geq 0.1 - < 1.0 \%$

4. 応急措置

必要な応急措置**一般的アドバイス:**

応急措置担当者は自分の安全確保に注意を払い、推奨されている防護服(耐薬品手袋、飛沫防護)を使用する。ばく露する可能性がある場合は、第8項の保護具の情報を参照。

吸入した場合: 新鮮な空気のある場所に移動させ、呼吸を快適に保つ。呼吸停止の時は人工呼吸を施す。マウスツーマウス式人工呼吸を行う時は、レスキュー用保護具(ポケットマスクなど)を使用する。呼吸困難の時は、有資格者が酸素吸入を行う。医師を呼ぶか、医療機関に搬送する。

皮膚に付着した場合: 石鹼と大量の水で洗って、物質を直ちに皮膚から取り除く。洗っている間に汚染された衣類や靴は脱がせる。刺激や発疹が生じた場合、医師の診察を受ける。衣類は再使用前に洗濯する。汚染を取り除くことができない靴やベルト、時計バンド等の革製品は廃棄する。作業場内に適切な緊急用安全シャワー設備を設置すること。

眼に入った場合: 数分間眼を徹底的に水で洗い流す。1~2分洗眼してからコンタクトレンズをはずし、さらに数分洗い続ける。症状があれば、医師の診察を受ける。眼科医が望ましい。

飲み込んだ場合: 口を水ですすぐ。緊急医療措置は必要ない。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状:

上記の応急措置の記述、下記の緊急治療及び必要とされる特別処置の指示に記載されている情報に加えて、重要な症状や影響は項目 11 の有害性情報に記載されている。

緊急治療及び必要とされる特別処置の指示

医師に対する特別な注意事項: 患者に十分な換気および酸素吸入を維持すること。特別な解毒剤はない。ばく露に対する治療は、患者の症状に応じて臨床的処置を行う。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤: 水噴霧、耐アルコール泡消火剤、二酸化炭素 (CO2)、粉末消火剤。

使ってはならない消火剤: 知見なし。.

特有の危険有害性

有害燃焼副産物: ケイ素酸化物、ホルムアルデヒド、炭素酸化物、金属酸化物。

異常な火災および爆発の危険: 燃焼生成物への曝露は健康に害を及ぼす場合がある。.

消防士へのアドバイス

消火手順: 未開封の容器を冷却するために水を噴霧する。区域から退避させること。汚染した消火廃水は回収すること。排水施設に流してはならない。火災の残留物や汚染した消火廃水は、関係法規に従って処理する。可能なら消防水の流出を防ぐ。消防水の流出を防げないと環境破壊を引き起こす可能性がある。.

現場の状況と周辺環境に応じて適切な消火手段を用いる。安全であれば未損傷コンテナを火災領域から離す。

消火を行う者の保護: 火災時には、自給式呼吸器を着用する。保護具を使用する。.

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置: 保護具を使用する。安全な取り扱いの助言や、個人保護具の推奨事項に従う。

環境に対する注意事項: 規定されたレベル以上の水環境で製品を放出しないでください。安全を確認してから、もれやこぼれを止める。汚染された洗浄水を保管し、処分する。流出が著しく回収できない場合は、地方自治体に通報する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材: 拭き取り、こすってきれいにした後、容器に回収し処理する。本製品を放出、廃棄する際には、各地方自治体および国の規則に従って処理すること。その放出に使用された物質についても同様である。どの規則が適用されるかを確認する必要がある。多量にこぼれた場合、防液堤を築く等の適切な封じ込め手段を講じて、広がらないようにすること。防液堤に使用した資材をポンプで吸い上げることができる場合には、回収した物質を適切な容器内に保管する。以下の項目を参照のこと: 7、8、11、12 および 13

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い: 皮膚や衣服に付けない。 眼との接触を避ける。 飲み込まない。 漏れや廃棄物を防止し、環境への放出を最小限にするよう注意する。 十分な衛生的作業を行い安全規定に従って取扱う。 空容器は危険有害性。空容器の内部には残留物質が存在するので、容器が空になった後も、(M) SDS および警告表示をすべて遵守すること。

適切な換気装置の下でのみ使用する。 ばく露防止及び保護措置の項の設備対策を参照。

保管: 適切なラベルのついた容器に入れておく。 各国の規定に従って保管する。

次の製品種類といっしょに保管しない: 強酸化剤。

容器に不適な素材: 知見なし。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度

ばく露限界値が存在する場合は以下に記載されている。ばく露限界が表示されていない場合は適用しない。

化学名	国際規制	リストのタイプ	価値
メタノール	ACGIH	TWA	200 ppm
	詳細情報: Skin: 皮膚吸収の危険性		
	ACGIH	STEL	250 ppm
	詳細情報: Skin: 皮膚吸収の危険性		
	安衛法(管理濃度)	ACL	200 ppm
	日本産業衛生学会 (許容濃度)	OEL-M	260 mg/m ³ 200 ppm
	詳細情報: 2: 第 2 群: ヒトに対しておそらく生殖毒性を示すと判断される物質; S: 経皮吸収		

取扱い中または加工中に、許容濃度 (OEL) が設定されている反応生成物あるいは分解生成物が発生することがある。、メタノール。

生物学的職業暴露限度

成分	CAS 番号	対象物質	生物学的 試料	試料採取 時期	許容濃度	出典
メタノール	67-56-1	メタノール	尿	作業終了 時	20 mg/l	日本産業 衛生学会
		メタノール	尿	シフト終了 時(暴露停 止後できる だけ早く)	15 mg/l	ACGIH BEI

ばく露防止

設備対策: 局所排気装置や他の排気装置を使用して、気中濃度が許容濃度や管理濃度より低くなるように管理する。許容濃度や管理濃度が設定されていない場合、通常の作業は全体換気を行うことで十分である。一部の作業には局所排気装置が必要になることがある。

保護具

呼吸用保護具: 許容濃度を超える可能性がある場合は、呼吸器用保護具を着用する。許容濃度が未設定の場合、認可された呼吸器用保護具を使用する。呼吸用保護具が必要な場合、認可された陽圧自給式呼吸器または補助空気ボンベ付き陽圧エアラインを使用する。

手の保護具: この物質に対し耐薬品性のある手袋を用いること。望ましい手袋の素材の例: ブチルゴム。天然ゴム(ラテックス)。ネオプレン。ニトリル/ブタジエンゴム(ニトリルまたは NBR)。エチルビニルアルコールラミネート(EVAL)。ポリ塩化ビニル(PVC または ビニル)。注意: 特定の用途と作業場での使用時間に適合した手袋を選択するときは、以下に記す要件をはじめとして、作業上の要件をすべて考慮に入れる必要がある: 取り扱う可能性がある他の化学物質、物理的要件(切傷・刺し傷の予防、機敏さ、熱の防護)、手袋の供給業者からの説明書・仕様書。

眼の保護具: 安全メガネ(サイドシールド付)を着用する。

皮膚及び身体の保護具: この物質に耐薬品性のある保護衣を着用する。作業内容に応じて、顔面シールド、長靴、エプロンまたは全身防護服などの保護具を選択する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	ペースト
色	無色
臭い	アルコール臭
臭いの閾値	データなし
pH	非該当
融点／凝固点	
融点	データなし
凝固点	データなし
沸点又は初留点及び沸騰範囲	
沸点 (760 mmHg)	非該当
引火点	セタ密閉式引火点試験 42 ° C
蒸発速度(ブチルアセート=1)	非該当
可燃性	
可燃性(固体、気体)	引火の危険性として分類されていない
可燃性(液体)	データなし
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界	
爆発範囲の下限	データなし
爆発範囲の上限	データなし
蒸気圧	非該当
相対ガス密度	
相対蒸気密度(空気=1)	データなし
密度及び／又は相対密度	

比重・相対密度(水=1)	1.05
溶解度	
水への溶解度	データなし
n-オクタノール／水分配係数 (log 値)	データなし
自然発火点	データなし
分解温度	データなし
粘度 (粘性率)	非該当
動粘性率	非該当
爆発特性	非爆発性
酸化特性	本製品は酸化性物質としては分類されない。
分子量	データなし
粒子特性	
粒子サイズ	データなし

注記: 上記の物理データは、代表値であり、仕様として解釈されるべきものではない。

10. 安定性及び反応性

反応性: 反応性危険としては分類されない。

化学的安定性: 通常の状態では安定。

危険有害反応可能性: 強い酸化剤と反応することがある。

避けるべき条件: 知見なし。

混触危険物質: 酸化剤との接触は避ける。

危険有害な分解生成物:

分解生成物は以下のものを含むことがあり、またこれだけとは限らない: ホルムアルデヒド, 1-ブテン, メタノール。

11. 有害性情報

本項にはデータが存在する場合に毒性情報が記載される。

可能性のある暴露経路の情報

眼に入った場合, 皮膚接触, 飲み込んだ場合。

急性毒性 (即時影響を及ぼす短期間ばく露を示す。特に断りのない限り慢性/遅延影響は見られない。)

急性毒性 (経口)

製品情報:

誤飲した場合、弱い毒性を示す。通常の作業での誤飲では傷害は起こらないであろう。ただし、大量に誤飲すると傷害を引き起こすことがある。

製品として。単回経口投与のLD50のデータなし。

成分の情報による:

LD50, > 2,000 mg/kg 推定値。

成分情報:**イソブチルトリメトキシシラン**

LD50, ラット, オスおよびメス, > 2,000 mg/kg この濃度では死に至らない。

この物質は加水分解してメタノールを放出する可能性があります。メタノールはヒトに対して高い毒性を示し、中枢神経系影響、失明を含む視覚障害、代謝性アシドーシスのほか、肝臓、腎臓および心臓などの臓器に変性を起こすことがある。

有機チタネート

LD50, ラット, 3,500 mg/kg

メチルトリメトキシシラン

LD50, ラット, オスおよびメス, 11,685 mg/kg

この物質は加水分解してメタノールを放出する可能性があります。メタノールはヒトに対して高い毒性を示し、中枢神経系影響、失明を含む視覚障害、代謝性アシドーシスのほか、肝臓、腎臓および心臓などの臓器に変性を起こすことがある。

急性毒性（経皮）**製品情報:**

長時間の皮膚接触で、有害量を吸収することはないであろう。

製品として。経皮LD50は決定されていない。

LD50, ウサギ, > 2,000 mg/kg 推定値。

成分情報:**イソブチルトリメトキシシラン**

経皮LD50は決定されていない。

この物質は加水分解してメタノールを放出する可能性があります。メタノールの作用は経口、吸入暴露と同じであり、CNS(中枢神経)抑制、失明までも含む視覚障害、代謝性アシドーシスのほか、肝臓、腎臓、心臓などの臓器系に及ぼす作用も伴い、死に至ることもある。

有機チタネート

類似物質について LD50, ウサギ, > 2,000 mg/kg この濃度では死に至らない。

メチルトリメトキシシラン

LD50, ウサギ, オスおよびメス, > 9,500 mg/kg OECD 402 あるいはそれに準じる方法

この物質は加水分解してメタノールを放出する可能性があります。メタノールの作用は経口、吸入暴露とも同じであり、CNS(中枢神経)抑制、失明までもを含む視覚障害、代謝性アシドーシスのほか、肝臓、腎臓、心臓などの臓器系に及ぼす作用も伴い、死に至ることもある。

急性毒性(吸入)

製品情報:

数分間の短時間暴露では、有害影響は起こりにくい。加熱された物質から発生した蒸気により、呼吸器を刺激することがある。過剰暴露は下記の症状を引き起こすことがある: 中枢神経系抑鬱 症状には、頭痛、めまいと眠気のほか、協調運動障害および意識消失の進行などがある。

製品として。LC50 は決められていない。

成分情報:

イソブチルトリメトキシシラン

LC50, ラット, 4 h, 蒸気, > 1525 ppm この濃度では死に至らない。

この物質は加水分解してメタノールを放出する可能性があります。メタノールを吸入すると、頭痛、昏睡、および視覚障害から代謝性アシドーシス、失明、死に至るまで、さまざまな作用を起こすことがある。

有機チタネート

類似物質について LC50, ラット, 4 h, 蒸気, > 20 mg/l 推定値。

メチルトリメトキシシラン

LC50, ラット, オスおよびメス, 6 h, 蒸気, > 7605 ppm OECD 試験ガイドライン 403

この物質は加水分解してメタノールを放出する可能性があります。メタノールを吸入すると、頭痛、昏睡、および視覚障害から代謝性アシドーシス、失明、死に至るまで、さまざまな作用を起こすことがある。

皮膚腐食性/刺激性

製品情報:

成分の情報による:

短時間接触で、局部発赤を伴う軽い皮膚刺激を起こすかもしれない。

皮膚の乾燥および剥離を引き起こすことがある。

成分情報:

イソブチルトリメトキシシラン

短時間接触で、局部発赤を伴う中程度の皮膚刺激を起こすかもしれない。

有機チタネート

類似物質について

短時間接触で、局部発赤を伴う軽い皮膚刺激を起こすかもしれない。

皮膚の乾燥および剥離を引き起こすことがある。

メチルトリメトキシシラン

短時間接触で、局部発赤を伴う軽い皮膚刺激を起こすかもしれない。

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性**製品情報：**

成分の情報による：

軽度に眼を刺激することがある。

眼に弱い不快感を認めることがある。

成分情報：イソブチルトリメトキシシラン

軽度に眼を刺激することがある。

角膜損傷は起こらないであろう。

有機チタネート

類似物質について

眼を刺激することがある。

角膜損傷を起こすことがある。

メチルトリメトキシシラン

軽度の一過性眼刺激作用を起こすことがある。

角膜損傷は起こらないであろう。

呼吸器感作性又は皮膚感作性**製品情報：**

皮膚感作性：

モルモットでアレルギー性の皮膚反応を起こした成分を含有。

呼吸器感作性：

関連のある情報は得られていない。

成分情報：イソブチルトリメトキシシラン

モルモットでのテストでは皮膚アレルギー反応はなかった。

呼吸器感作性：

関連のあるデータは得られていない。

有機チタネート

皮膚感作性:

類似物質について

モルモットでのテストでは皮膚アレルギー反応はなかった。

呼吸器感作性:

関連のあるデータは得られていない。

メチルトリメトキシシラン

皮膚感作性:

モルモットを用いた試験では、アレルギー性皮膚反応を示した。

呼吸器感作性:

関連のあるデータは得られていない。

特定標的臓器毒性（単回ばく露）

製品情報:

特定標的臓器毒性（単回ばく露）区分3に分類される成分を含有する。

成分情報:

イソブチルトリメトキシシラン

眠気又はめまいのおそれ。

ばく露経路: 吸入(蒸気)

標的臓器: 中枢神経系

有機チタネート

入手可能データは特定標的臓器毒性（単回ばく露）を決定するには不十分である。

メチルトリメトキシシラン

使用可能なデータの評価によれば、この物質は特定標的臓器毒性（単回ばく露）を示さない。

誤えん有害性

製品情報:

物性上、吸引性呼吸器有害性は低い。

成分情報:

イソブチルトリメトキシシラン

経口摂取や嘔吐の際、肺への吸引の恐れがあり、肺損傷を起したり、化学性肺炎のため死に至ることもある。

有機チタネート

入手可能な情報によると、吸引性呼吸器有害性は確定されていない。

メチルトリメトキシシラン

不十分なデータによれば、物質は吸引性呼吸器有害性として区分されていないが、低粘度の物質は経口摂取や嘔吐の際に肺に吸引され肺損傷を起こすことがある。

慢性毒性（反復投与による慢性／遅延影響を及ぼす長期間ばく露を示す。特に断りのない限り即時影響は見られない。）

特定標的臓器毒性（反復ばく露）

製品情報：

製品に封入された成分を含み、その成分は作業工程や予見しうる緊急事態においては放出されないと考えられる。

成分情報：イソブチルトリメトキシシラン

入手可能なデータによると、繰り返し暴露で、顕著な有害影響は予期されない。

有機チタネート

関連のあるデータは得られていない。

メチルトリメトキシシラン

入手可能なデータによると、繰り返し暴露で、顕著な有害影響は予期されない。

発がん性**製品情報：**

産業上の取り扱いに関連があると考えられる暴露経路を用いた長期動物試験で、発がん性が認められなかった成分を含有する。

成分情報：イソブチルトリメトキシシラン

関連のあるデータは得られていない。

有機チタネート

関連のあるデータは得られていない。

メチルトリメトキシシラン

関連のあるデータは得られていない。

催奇形性**製品情報：**

動物試験で、催奇形性や他の胎児の影響がなかった成分を含有。

成分情報:イソブチルトリメトキシシラン

動物試験で、催奇形性や他の胎児への影響はなかった。

有機チタネート

関連のあるデータは得られていない。

メチルトリメトキシシラン

動物試験で、催奇形性や他の胎児への影響はなかった。

生殖毒性**製品情報:**

動物試験で、生殖毒性がなかった成分を含有している。

成分情報:イソブチルトリメトキシシラン

動物試験では、生殖を阻害しなかった。

有機チタネート

関連のあるデータは得られていない。

メチルトリメトキシシラン

動物試験では、生殖を阻害しなかった。

生殖細胞変異原性**製品情報:**

インビトロ遺伝毒性試験の結果は、試験した成分については陰性であった。試験した成分については、動物を用いた遺伝毒性試験の結果は陰性であった。

成分情報:イソブチルトリメトキシシラン

インビトロでの遺伝毒性試験は陰性であった。動物遺伝毒性試験は陰性だった。

有機チタネート

関連のあるデータは得られていない。

メチルトリメトキシシラン

インビトロ遺伝毒性試験では、陰性結果もあったが陽性結果もあった。動物遺伝毒性試験は陰性だった。

12. 環境影響情報

本項にはデータが存在する場合に生態毒性情報が記載される。

生態毒性

イソプロチルトリメトキシシラン

魚類に対する急性毒性

物質は事実上、水生生物に対して急性毒性を示さない(試験した種のうち最も感受性の高い種で LC50/EC50/EL50/LL50 >100 mg/L)。

LC50, *Danio rerio* (ゼブラフィッシュ), 96 h, > 100 mg/l

無脊椎動物に対する急性毒性

EC50, *Daphnia* sp. (ダフニア sp.), 48 h, > 864 mg/l

藻類/水生植物に対する急性毒性

最大無影響濃度, *Scenedesmus subspicatus*, 72 h, 成長速度, 220 mg/l

ErC50, *Scenedesmus subspicatus*, 72 h, 成長速度, > 1,170 mg/l

有機チタネート

魚類に対する急性毒性

関連のあるデータは得られていない。

メチルトリメトキシシラン

魚類に対する急性毒性

物質は事実上、水生生物に対して急性毒性を示さない(試験した種のうち最も感受性の高い種で LC50/EC50/EL50/LL50 >100 mg/L)。

LC50, *Oncorhynchus mykiss* (ニジマス), 96 h, > 110 mg/l, OECD テストガイドライン 203 あるいは同等のもの

無脊椎動物に対する急性毒性

EC50, *Daphnia magna* (オオミジンコ), 流水式試験, 48 h, > 122 mg/l, OECD 試験ガイドライン 202

藻類/水生植物に対する急性毒性

溶解度限界値における毒性無し

ErC50, *Pseudokirchneriella subcapitata* (緑藻), 72 h, 生長率阻害, > 3.6 mg/l, OECD 試験ガイドライン 201

溶解度限界値における毒性無し

最大無影響濃度, *Pseudokirchneriella subcapitata* (緑藻), 72 h, 生長率阻害, >= 3.6 mg/l, OECD 試験ガイドライン 201

細菌に対する毒性

EC10, 活性汚泥, 3 h, 呼吸速度, > 100 mg/l, OECD 試験ガイドライン 209

無脊椎動物に対する慢性毒性

最大無影響濃度, *Daphnia magna* (オオミジンコ), 28 d, 子孫の数, >= 10 mg/l

残留性・分解性

イソブチルトリメトキシシラン

生分解性: 厳格な OECD 試験において、この物質は易分解とは分類されないが、しかしこれらの結果は、この物質が環境中で生分解しないと必ずしも意味するものではない。

10-day Window: 不合格

生分解: 36 - 47 %

曝露時間: 28 d

方法: OECD テスト ガイドライン 301B

水中での安定性 (半減期)

加水分解, DT50, 4.6 h, pH 7

有機チタネート

生分解性: 関連のあるデータは得られていない。

メチルトリメトキシシラン

生分解性: 厳格な OECD 試験において、この物質は易分解とは分類されないが、しかしこれらの結果は、この物質が環境中で生分解しないと必ずしも意味するものではない。

生分解: 54 %

曝露時間: 28 d

方法: 理事会規則 (EC) No. 440/2008, 付属書, C. 4-A

生体蓄積性

イソブチルトリメトキシシラン

生体蓄積性: 生物濃縮の可能性は低い。 (BCF < 100 または Log Pow < 3)

n-オクタノール/水分配係数 (log 値) (log Pow): 2.1 推定値。

有機チタネート

生体蓄積性: 関連のあるデータは得られていない。

メチルトリメトキシシラン

生体蓄積性: 生物濃縮の可能性は低い。 (BCF < 100 または Log Pow < 3)

n-オクタノール/水分配係数 (log 値) (log Pow): -0.82 推定値。

土壌中の移動性

イソブチルトリメトキシシラン

関連のあるデータは得られていない。

有機チタネート

関連のあるデータは得られていない。

メチルトリメトキシシラン

関連のあるデータは得られていない。

オゾン層への有害性

イソブチルトリメトキシシラン

この物質は、オゾン層を破壊する物質に関するモントリオール議定書に含まれていない。

有機チタネート

この物質は、オゾン層を破壊する物質に関するモントリオール議定書に含まれていない。

メチルトリメトキシシラン

この物質は、オゾン層を破壊する物質に関するモントリオール議定書に含まれていない。

他の有害影響

イソブチルトリメトキシシラン

当物質は、残留性、生物濃縮性、毒性(PBT)であるとは考えられていない。この物質は、極難分解性・極生体蓄積性(vPvB)があるとは考えられていない。

有機チタネート

この物質の難分解性・生体蓄積性・毒性(PBT)は評価されていない。

メチルトリメトキシシラン

当物質は、残留性、生物濃縮性、毒性(PBT)であるとは考えられていない。この物質は、極難分解性・極生体蓄積性(vPvB)があるとは考えられていない。

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

廃棄方法:「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」及び地方条令に定められた方法に従って、焼却等の処理を行う。委託する場合は、許可を受けた廃棄物処理業者に委託する。

汚染容器及び包装: 廃容器は内容物を十分除去した後に、法規に従い廃棄する。

14. 輸送上の注意

道路及び鉄道輸送に関する分類 (ADR/RID) :

Not regulated for transport

海上輸送に関する分類 (IMO-IMDG) :

Not regulated for transport

MARPOL 73/78 の Annex I

または II および IBC また

は IGC コードに従い積荷を

運搬する。

Consult IMO regulations before transporting ocean bulk

航空輸送に関する分類 (IATA/ICA0) :

Not regulated for transport

国内規制がある場合の規制情報

陸上輸送は、消防法、労働安全衛生法、毒劇物法に該当する場合は、それぞれの該当法令に定められた運送方法に従う。海上輸送は、船舶安全法に従う。航空輸送は、航空法に従う。

この情報は、この製品に関わる特定の法令や輸送上の条件を全てお知らせするものではありません。輸送分類は容器の大きさや国や地域の法令により異なることがあります。追加情報は、弊社の営業担当者またはカスタマーサービスより入手してください。この物質の輸送にあたっては、輸送会社の責任において、適用される全ての法律、規制、規則に従ってください。

15. 適用法令

化審法

特定化学物質、監視化学物質、優先評価化学物質に該当しない。

化審法 - 既存化学物質及び新規化学物質リスト (ENCs)

製品の意図的使用成分には、制限の対象となる物質がある。製造及び/又はその使用は、制限の条件によって限定される。

労働安全衛生法

名称等を通知すべき危険物及び有害物

非該当

名称等を表示すべき危険物及び有害物

非該当

特定化学物質障害予防規則

非該当

有機溶剤中毒予防規則

非該当

健康障害防止指針公表物質

非該当

変異原性の認められた化学物質（既存化学物質）

非該当

変異原性の認められた化学物質（新規届出化学物質）

非該当

労働安全衛生法施行令 - 別表第一（危険物）

引火性の物

消防法

指定可燃物, 可燃性固体類, (指定数量 3000 キログラム), 火気厳禁
シリコン混和物

毒物及び劇物取締法

非該当

化学物質排出把握管理促進法

非該当

高圧ガス保安法

非該当

廃棄物の処理及び清掃に関する法律

特別管理産業廃棄物

16. その他の情報**改訂**

ID 番号: 4020459 / A728 / 発行日: 2021/11/29 / 版番号: 6.0

凡例

ACGIH	米国。ACGIH 限界閾値 (TLV)
ACGIH BEI	ACGIH - 生物学的暴露指標 (BEI)
ACL	管理濃度、基準濃度
OEL-M	許容濃度
STEL	短時間暴露限界
TWA	時間加重平均
安衛法 (管理濃度)	作業環境評価基準、健康障害防止指針
日本産業衛生学会	許容濃度等の勧告 - II. 生物学的許容値
日本産業衛生学会 (許容濃度)	日本産業衛生学会 許容濃度等の勧告 -I. 化学物質の許容濃度

その他の略語の全文

AICS - オーストラリア化学物質インベントリー; ANTT - ブラジル国家輸送機関; ASTM - 米国材料試験協会; bw - 体重; CMR - 発ガン性、変異原性、生殖毒性があるとされる物質; CPR - 管理製品規則; DIN - ドイツ規格協会基準; DSL - 国内物質リスト (カナダ); ECx - 任意の X% の反応を及ぼすと考えられる濃度; ELx - 任意の X% の反応を及ぼすと考えられる負荷割合; EmS - 緊急時のスケジュール; ENCS - 化審法の既存および新規化学物質リスト; ErCx - 任意の X% の反応を及ぼすと考えられる成長率; ERG - 緊急対応の手引き; GHS - 化学品の分類および表示に関する世界調和システム; GLP - 優良試験所規範; IARC - 国際がん研究機関; IATA - 国際航空運送協会; IBC - 危険化学品のばら積運送のための船舶の構造及び設備に関する国際規則; IC50 - 50% 阻害濃度; ICAO - 国際民間航空機関; IECSC - 中国現有化学物質名録; IMDG - 国際海上危険物規程; IMO - 国際海事機関;

ISHL - 労働安全衛生法 (日本); ISO - 国際標準化機構; KECI - 韓国既存化学物質名録; LC50 - 50%致死濃度 (半数致死量); LD50 - 50%致死量 (半数致死量); MARPOL - 船舶による汚染の防止のための国際条約; n. o. s. - 他に規定のない限り; Nch - チリ規則; NO(A)EC - 無有害性影響濃度; NO(A)EL - 無有害性影響レベル; NOELR - 無有害性影響負荷割合; NOM - メキシコ公式規則; NTP - 米国国家毒性プログラム; NZIoC - ニュージーランド化学物質台帳; OECD - 経済協力開発機構; OPPTS - 化学物質安全性・公害防止局; PBT - 難分解性・生体蓄積性・有毒性(物質); PICCS - フィリピン化学物質インベントリー; (Q) SAR - (定量的) 構造活性相関; REACH - 化学物質の登録、評価、認可および登録 (REACH) に関する規則 (EC) No 1907/2006; SADT - 自己加速分解温度; SDS - 安全データシート; TCSI - 台湾化学物質インベントリー; TDG - 危険物輸送; TSCA - 有害物質規制法 (米国); UN - 米国; UNRTDG - 国際連合危険物輸送勧告; vPvB - 非常に難分解及び非常に高蓄積性; WHMIS - 作業場危険有害性物質情報システム

セメダイン株式会社は、お客様や(M)SDSの受領者の皆様が、この(M)SDSの掲載データや、この製品に伴う危険有害性を認識し理解するために、(M)SDSを慎重に検討され、必要に応じて適宜しかるべき専門家にご相談されるようお願いしております。掲載内容は誠意をもって提供したものであり、上述の発効日の時点で正確なものであると考えております。ただし、明示および黙示の保証を行うものではありません。法令の要求事項は、改正されたり、地域により異なることがあります。使用に関する適用法令の遵守は使用者の責任です。ここに掲載された情報は出荷した製品についてのものです。

製造会社は製品の使用条件について関知するところではありませんので、製品の安全な使用条件は、使用者の責任において決定して下さい。各製造会社固有の(M)SDSなどの情報源が増加していますが、弊社は弊社以外の製造会社から入手した(M)SDSに関しては一切責任を負いません。他の情報源から入手した(M)SDSをお持ちの場合や、お手元の(M)SDSが最新版であるという確信が持てない場合は、弊社にご連絡ください。

JP